

自立活動学習指導案

令和5年6月27日(火) 5校時
海田町立海田西小学校
通級指導教室 第6学年 2名
授業者 砂山 和美

題材名 「どう思っているのかな？」～こうすれば大丈夫!～

本題材で育成する資質・能力 主体性 コミュニケーション能力 メタ認知

1 題材について

【児童観】

A 児は、注意の持続、目と手の協応動作、指先の細かい動き、力の調整等に困難さがある。その為、物が散乱したり、自分の意に反して大きな音を出してしまったりすることがあるが、それに対して周囲の人達がどう思っているか感じ取るには至らない。また、言葉の意味理解の不足から、会話の背景や経過の類推が難しく、勘違いすることがある。不注意によるミスも多く、間違えたことやそれを直すことに対して苛立ったり、自分に肯定的な感情を持たず落ち込んだりすることがある。通級による指導は4年目で、週2時間受けている。

B 児は、語彙が少なく、自分の気持ちや考えを言葉で伝える力が弱い為、質問に対して単語のみで答えたり、どう言ったら良いのか分からず返答につまったりすることがある。また、正しい場面把握や状況理解をすることが苦手である。言葉・表情・身振り等を総合的に判断して意図や感情を捉えることが難しく、相手の真意を読み間違えて、適切に応じられなかったり、乱暴な言い方になったりすることがある。通級による指導は5年目で、週2時間受けている。

二人とも自己の状態の分析や理解、行動の調整が難しい面がある。しかし、自分や他者の気持ちを視覚的に示したり、自分の行動とできごととの因果関係を図示したりすることで、他者の意図や感情を考え、自ら適切な行動を選択することができる。

【題材観】

本題材は、特別支援学校学習指導要領解説自立活動編 3人間関係の形成(3)「自己の理解と行動の調整に関すること。」を指導するものである。自分の得意なことや不得意なこと、自分の行動の特徴などを理解し、集団の中で状況に応じた行動ができるようになることをねらう。

さらに、4環境の把握(2)「感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。」にも関連させて、自分に入ってくる情報を適切に処理できるようにするとともに、自己の感覚の過敏さや認知の偏りなどの特性について理解し、適切に対応できるようにする。

また、6コミュニケーション(5)「状況に応じたコミュニケーションに関すること。」とも関連付け、自分が受け止めた内容に誤りがないかどうかを確かめたり、相手の立場に合わせた言葉遣いや場に応じた声の大きさなど、場面にふさわしい表現方法を身に付けたりできるようにする。

本校6年生は、単学級の為、6年間クラス替えはなく、互いの良さや特性を知った上で、折り合いをつけながら生活してきた。多少不適切な言動があっても、ある程度受け入れてもらえる環境の中で、現段階では、A児もB児も自分の課題や周囲の人達の反応に目が向きにくい。しかし、来年度は、中学進学にあたり、新しい環境での集団生活が始まる。その際、友好的人間関係を構築する為、小学生の間に自分の言動の傾向に気付き、相手に嫌な印象を与えないスキルを身に付ける必要があると考え、本題材を設定した。

【指導観】

指導に当たっては、自分の言動の特徴に気付き、相手の気持ちや感情を推測しながら適切な関わり方が身に付くようにする。

そのために、次の3点に重点をおいて指導する。1点目は、自分の得意・不得意を整理し、自分の特性・傾向に気付かせる。そして、どうなったら学习上・生活上の困難さが軽減されるか考え、自分の目標を決めさせる。2点目は、因果関係を図示したり、実際の場面を再現したりするなど体験的な活動を通して、他者の意図や感情を考えさせる。3点目は、自ら適切な行動を選択し調整できた体験をフィードバックし、自己を肯定的に捉えられるようにする。

併せて、全職員で個々の特性に応じた取組を共通理解し、児童が自分の良さに気付けるように声をかけたり、自信がもてるように励ましたりして、学習への意欲や自己肯定感が高まるように指導する。最終的には、自己のメタ認知を通して、自分の特性や必要な支援を他者に伝えたり、目的に沿って行動を調整したりできるようにさせたい。

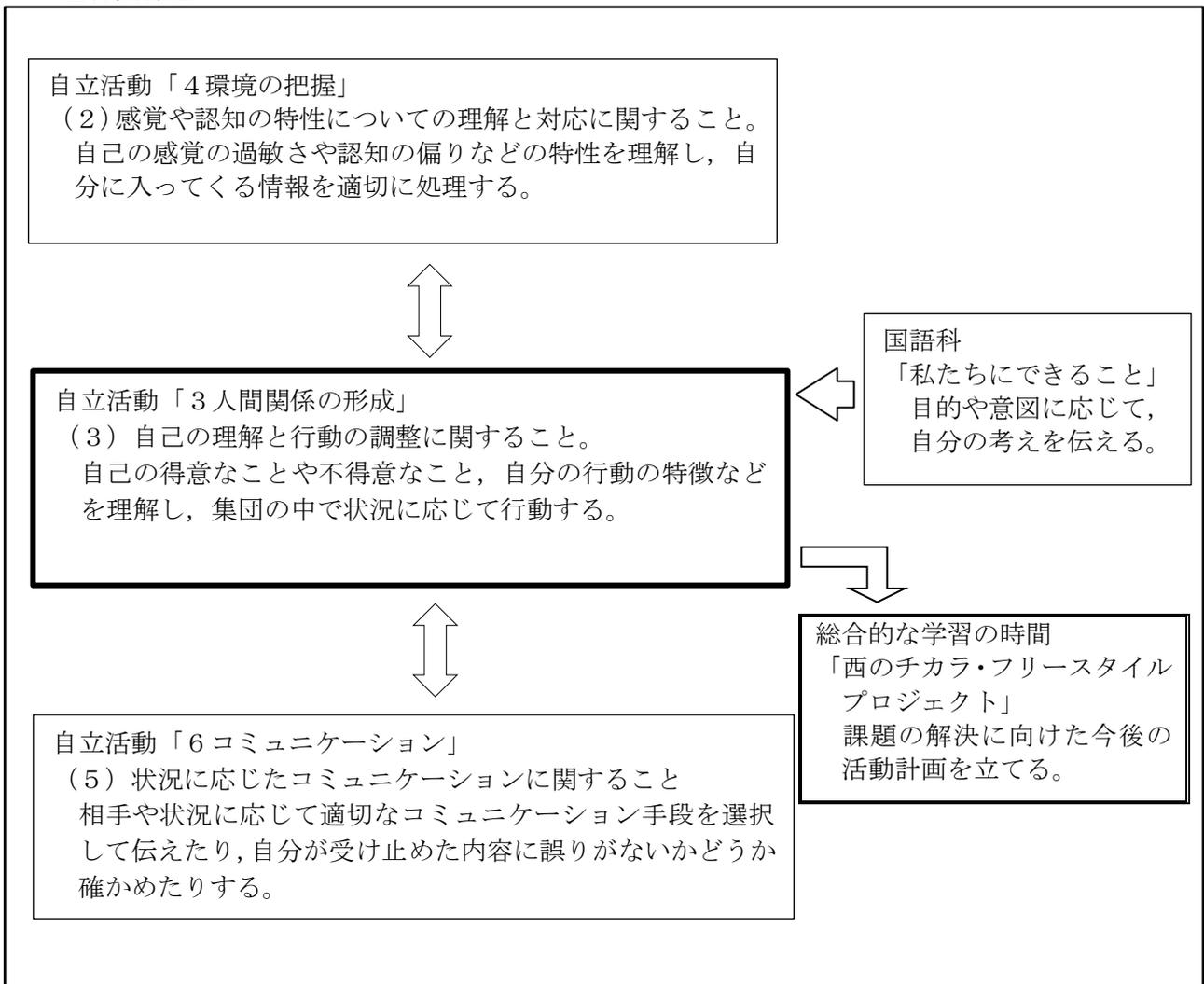
2 題材目標

自分の言動の特徴を理解して、自ら適切な言動を選択することができる。

3 題材の評価規準

【資質・能力】 メタ認知 ・集団の中で状況に応じた行動をとるために、自分の言動の特徴を理解している。		
人間関係の形成	環境の把握	コミュニケーション
・自分の得意なことや不得意なこと、自分の行動の特徴などを理解して、自ら適切な行動を選択している。 【3人間関係の育成（3）】	・自己の感覚の過敏さや認知の偏りなどの特性を理解し、自分に入ってくる情報を適切に処理している。 【4環境の把握（2）】	・相手や状況に応じて適切なコミュニケーション手段を選択して伝えたり、自分が受け止めた内容に誤りがないかどうか確かめたりしている。 【6コミュニケーション（5）】

4 題材関係図



5 指導と評価の計画（全10時間）

次	学習内容（時数）	評 価			
		人間関係の形成	環境の把握	コミュニケーション	評価規準（評価方法）
一	<p>「得意・苦手を整理しよう」</p> <p>○自分の得意・苦手をチェックする。（1）</p> <p>○どんな自分になりたいか整理して、短期目標を決める。（1）</p>	○			<p>・自己分析し、○×をつけている。</p> <p>・自分の強み・課題が分かり、短期目標を書いている。</p> <p>【人】 （チェックシート、発言、ワークシート）</p>
二	<p>「どんな気持ちかな？」</p> <p>○表情と気持ちのマッチングゲームをする。（1）</p> <p>○気持ちを表すさまざまな言葉を知る。（1）</p> <p>○どんな時にどんな気持ちになりやすいか自分の言動を振り返る。（1）</p>		○		<p>・表情にあった気持ちを選択している。</p> <p>・気持ちを表す言葉を5個以上書いている。</p> <p>・自分の言動や気持ちの傾向を書いている。</p> <p>【環】 （表情・気持ちカード、行動観察、発言、ワークシート）</p>
三	<p>「どう思っているのかな？」</p> <p>○相手の気持ちを想像して、気持ち良く過ごすための言動（「こうすれば大丈夫！」）について考える。（ペア学習）（1） 【本時1/2】</p> <p>○自分の考えた「こうすれば大丈夫！」を再現し、役割演技をしたり、インタビューしたりして、相手の気持ちを確認する。（ペア学習）（1）</p>	○		○	<p>・相手の気持ちを推測し、適切な言動を選択している。</p> <p>・相手の真意を読み間違えていないか確認している。</p> <p>【人・コ】 （発言、行動観察、ワークシート）</p>
四	<p>「教室ではどうかな？」</p> <p>○自分の言動を振り返る。（1）</p> <p>○やりとりの練習をする。（1）</p> <p>○お互いの良い言動を伝え合う。（ペア学習）（1）</p>	○		○	<p>・気を付けるべき言動・うまくできた場面が1つ以上言えている。</p> <p>・自分の言動の特性が分かり、相手や場に応じて、適切なやりとりができています。</p> <p>・自分の良さ・成長に気付き、振り返りに書いている。</p> <p>【人・コ】 （発言、行動観察、ワークシート）</p>

6 本時の展開

本時の目標 相手の気持ちを推測し、適切な言動を選択することができる。 A 児 物の散乱や大きな音は、周囲の人達を不快にさせることが分かり、適切な行動を選択できる。 B 児 乱暴な言い方では相手に真意が伝わらないことが分かり、適切な言い方を選択できる。		
学習活動 ◎発問 ・予想される児童の反応	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
1 感覚統合運動遊び (5分) ・「今月のお題」の指示内容を理解し、複数の運動遊びをする。 2 音読トレーニング (5分) ・自分達で作った気持ちを表す言葉を用いた詩を音読する。 3 ビジョントレーニング (5分) ・「気持ち見つけゲーム」をする。 4 聞くトレーニング (5分) ・気持ちを考える問題を聞いて、質問に答える。 5 「どう思っているのかな？」 (19分) ・めあての確認をする。 ◎相手の気持ちを想像して、ふきだしに書きましょう。 ・「怒っているのかな。」「こわい。」「嫌な気持ちになる。」 ◎自分だったらどうしますか。 「こうすれば大丈夫！」を、考えましょう。 ・「謝る。」「そっと置く。」「優しく言う。」 ◎相手の気持ちは、どこで分かりますか。また相手の気持ちが分かったら、自分にとってどんな良いことがありますか？	・楽しく入室し、気持ちの切り替えができるように、肯定的な声かけをする。 ・気持ちを表す言葉がどれか見つけさせる。 ・互いの詩の良さを伝え合わせる。 ・気持ちを表す語彙を増やす。 ・どんな気持ちなのか、考えながら聞かせる。 ・必要に応じてメモを取らせる。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> めあて どう思っているのか考えよう。 【今日のミッション】 ① 相手の気持ちは、どこで分かる？ ② 相手の気持ちが分かったら、自分にとってどんな良いことがある？ </div> ・ふきだしゲームでウォーミングアップをする。 〈児童の状況に応じた指導〉 ・相手の気持ちや正しい言動の理解が難しい場合は、役割演技をさせる。 ・考えていることは良いことだが、行動や言葉に問題があることに気付かせる。	【人】 相手の気持ちを推測し、適切な行動を選択している。(発言・行動観察・ワークシート) A 児 物の散乱や大きな音は、周囲の人達を不快にさせることが分かり、適切な行動を選択している。 B 児 乱暴な言い方では相手に真意が伝わらないことが分かり、適切な言い方を選択している。
6 本時のまとめ・振り返り (5分) ・相手の気持ちを考えて行動することが、自分の過ごしやすきにつながることに気付く。	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> まとめ ① 相手の気持ちは、顔(表情) や 声(口調) で分かる。 ② 相手の気持ちが分かったら →自分がどうすれば良いか分かる。 「こうすれば大丈夫」が分かる。 →自分も相手も気持ちよく過ごせる。 ⇒ 相手(周りの人)の気持ち を考えて行動したら、気持ちよく過ごせる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ◎自分は、言葉/行動 に気を付けたい。 </div>	

<p>7 次時の予告 (1分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回のペア学習では、お互いの良い言動を伝え合うことを知らせる。 <p>8 (時間があれば)</p> <p>各自、コグトレオンラインをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生方からのメッセージを読んで、「良いところ見つけ」の参考にさせる。また、先生方がいつも見守ってくださっていることに気付かせる。 	
---	--	--

7 板書計画

「どう思っているのかな？」～こうすれば大丈夫！～

④ どう思っているのか考えよう。

【今日のミッション】

- ① 相手の気持ちは、どこで分かる？
- ② 相手の気持ちが分かったら、自分にとってどんな良いことがある？

1

2



こうすれば
大丈夫！

⑤ ①相手の気持ちは、顔(表情) や 声(口調) で分かる。

②相手の気持ちが分かったら、

- 自分がどうすれば良いか分かる。
- 「こうすれば大丈夫！」が分かる。
- 自分も相手も気持ちよく過ごせる。

⇒ 相手(周りの人)の気持ち を考えて行動したら、気持ちよく過ごせる。

気持ち見つけゲーム

⑥ 自分は、言葉/行動 に気を付けたい。

8 教室内の配置図

